

(食品廃棄物のエネルギー変換に関する技術開発) 水熱処理によるエネルギー化に関する研究

研究期間：平成16～18年度

研究の目的

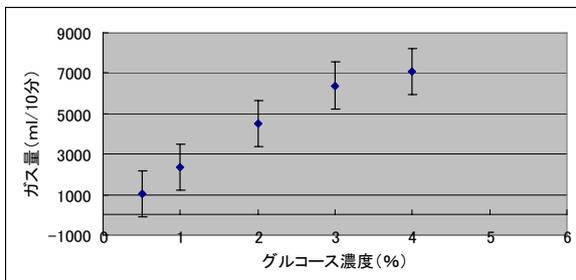
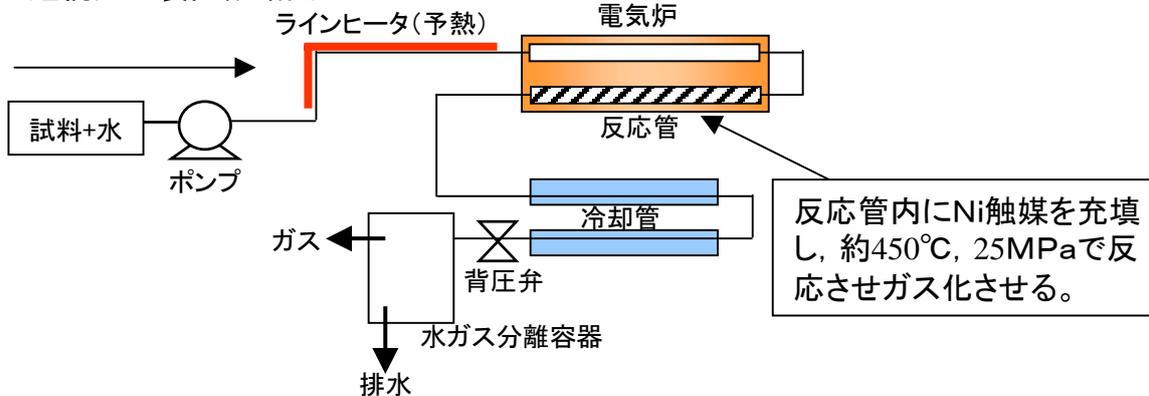
バイオマス的一种である食品廃棄物は90%以上が焼却・埋立処分されている。本研究では、水熱反応を利用し、連続的に食品廃棄物を付加価値の高いエネルギー(ガス)に変換することを目指している。

研究の内容

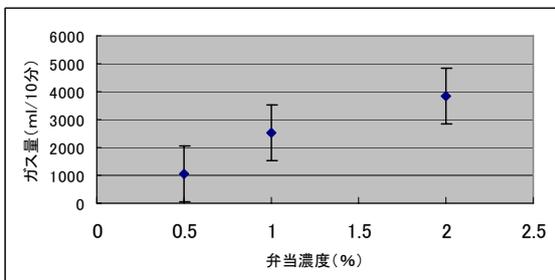


研究の成果 (又は 応用展開)

連続処理装置概略図



グルコースのガス化



混合試料(「トンカツ弁当」)のガス化

- ・いずれの場合もガス成分は、水素:メタン:二酸化炭素=約6:1:3
- ・現状の装置では、グルコースで3%、混合試料で1%の濃度までガス化が可能

共同研究機関

東部工業技術センター
食品工業技術センター

西部工業技術センター
材料技術研究部